



会津大学 後援会だより

第 27 号

発行：会津大学後援会（事務局 学生部学生課）

発行日：平成 24 年 3 月 6 日

住所：〒965-8580 福島県会津若松市一箕町鶴賀

電話：0242-37-2515（FAX0242-37-2526）

URL：http://www.u-aizu.ac.jp



学長あいさつ

会津大学長

角山茂章

この一年と、新しい中長期目標について

東日本大震災の後、公式な卒業式を中止せざるを得ませんでしたが、学生の熱い要望に応え自主卒業式として行われました。83名の留学生を含む学生諸君が参加し、セドゥーキン副学長、岡学部長より、卒業生一人一人に卒業証書が渡され、取材していたメディアからはいつもの年より良い式だったとの感想をもらいました。入学式は一月後の5月でした。留学生は一時期多くが会津を離れましたが、その後ほとんどが戻り、5月にはベトナムのハノイ工大の留学生が入学、また

秋には台湾からの新たな留学生も加わり、結果としては前年より増える結果になりました。

震災復興に向けて、本学が関係する IT の分野で、様々な企業が会津で活動を始めました。米国の IT 企業アクセンチュア、インドのコングロマリットのタタ、中国の重機メーカーのズームライオン社です。また、本学はこの1月に、福島復興を支援する「復興支援センター」設立を発表しました。そこでは、県民の健康データの管理が福島医大を中心に行われますが、データベース技術や個人情報を守るセキュリティなどの技術が必要となり、本学が支援を行います。また、「復興支援センター」にはクラウドコンピューティングの機能も持たせるので、日本を代表する IT 企業が集まり、スマートフォンのアプリ市場の急拡大を受けた雇用創出の活動や、最先端の技術活動に学生も触れられるような場として活用できると考えています。

社会情勢の変化で、最近では職業に直結しているということで、社会科学系より理系の人気が高いといわれている中、この活動が復興のための雇用創出、また本学卒業生の就職機会の増加に繋がることを期待しています。

さて、本学は今年度で法人化後第一期の中期目標期間を終了し、この春より第二期目の期間に入るので、新たな中期目標の策定の議論を行いました。その中で本学のモットーである「to Advance Knowledge for Humanity」の日本語訳が議論になりました。今までの中期目標に書かれていた「人類のための知識の進歩と創造」に代えて、開学時に使われていた「人類の平和と繁栄に貢献する発明と発見」に戻すべきであるという議論です。歴史的な経緯はともかく、英文の二つの解釈はどちらも私には意義深いものの様に思えました。国井元学長が、「to Advance Knowledge」という米国の著名な大学で使われていたモットーに、「for Humanity」を付け加えたと言っていますが、その意味するところは深く、様々な解釈があってもおかしくないと思います。

「知識の進歩と創造」は、人に直結した言葉であり、私には「教育」の重要性をさしているように取れます。一方、「平和と繁栄に貢献する発明と発見」は、東日本大震災と原発事故に苦しむ福島県に対し、「社会貢献、雇用創出」が今こそ重要であるということを示唆しているようにも取れます。

福島現状を考えると、我々はこの二つの意味の建学の精神に立ち戻り、学内の教職員全員が心を一にして努力することが必要と考えています。

今後の教育での目指す方向を考えると、中央教育審議会でも議論された「高等教育の将来像」が参考となります。そこでは、21世紀は「知識基盤社会」と位置づけられ、個人の人格形成の上でも、社会を発展させる国際競争力を高める上でも、高等教育が重要な役割を担うと指摘されています。人材が最大の資源である日本にとって「高等教育の危機は社会の危機でもある」として、「教育の質の保証」の重要性が述べられています。

このように、日本が目指すべき高等教育の将来像では、国際競争力の向上が叫ばれている訳ですが、日本社会の実態は反対の方向に動いているのではないのでしょうか。海外の識者からは「日本は高度成長から低成長の社会構造に移り変わる中で、海外について勉強しなくなった」と指摘されています。このような背景の下で、キャンパス自体が国際的環境にあり、「会津から世界へ」と海外で活動できる人材の育成を行っている本学は、今後益々個性ある大学として存在意義を高めていくことが出来ると思っています。

昨年春には、後援会の皆さんのご支援も頂き、学生寮の「創明寮」が開設されました。原則、日本人と外国人の学生が半分ずつ入寮する設計になっており、語学のみでなく、相互の文化を自ら学べる環境が準備されました。学生間では、時間帯を決めて、英語しか話さない時間、日本語しか話さない時間を決めて積極的な交流が始まりました。今後の成果が楽しみです。

教育の質の保証としては、カリキュラムの改定を平成 20 年度に行い、国際的に IT 分野の社会ニーズを調査し大学教育のあり方を提言している ACM(The Association for Computing Machinery) の報告に合わせて、従来のコンピュータサイエンスからソフトウェア工学や IT 応用分野へと幅広く学べるようにしました。

また平成 21 年度から「先端情報科学研究センター」を設立し、宇宙情報のグループは「はやぶさ」プロジェクトの中心的な役割を担い、本学の学生に科学に対する夢を抱せる素晴らしい成果を生みました。環境情報グループも、その研究内容の質は高く評価され、APEC 気候センターと共同研究を進めています。

最近、日本の大学の国際的な評価を高めるために、大学の秋入学の議論が行われています。勿論、頭脳が世界的に循環する時代、入学時期をあわせることは意味があると思いますが、それだけでは改善されないと思います。

中央教育審議会でも議論されたように、社会を発展させる国際競争力を高める人材を輩出できる教育が行えるような改革が必要であり、本学は既にその方向に向かって常に改革を進めていきますので、後援会の皆さまのご支援を宜しくお願いいたします。

平成23年度後援会事業報告

会津大学後援会では、学生の健全で快適な学生生活を支援するため、福利厚生事業、学生会・学園祭実行委員会への助成、就職活動支援など様々な事業を実施しており、本年度は下記のとおり事業を行いました。

1 スキルアップ奨励事業

学生のコンピュータの専門知識及び語学力の向上を図るため、情報処理技術者試験の合格者及びTOEICの高得点獲得者に奨励金を支給しています。

平成24年2月8日現在における本年度分該当者は次の方々です。

〔情報処理技術者試験〕

佐藤 勇介(3年) 新妻 佑記(3年) 新開 敬紘(3年) 木下 達生(4年)

〔TOEIC〕

※600点以上 村田 秀一郎(1年) 金田 淳(2年) 小國 翔平(3年) 菅野 諒(3年)
渡辺 布裕子(4年)

※730点以上 久米 祥之(3年) 茂手木 愛美(4年)

2 県内企業見学会

学生の就職支援活動の一環として、福島県内の企業を訪問する「県内企業見学会」を、9月28日に実施しました。本年度の訪問先は、NECネットワークプロダクツ(株)(福島市)と日本工営(株)電力事業本部福島事業所(須賀川市)で、14名の学生が参加しました。当日は、企業の案内を受けながら実際の職場の様子を見学し、併せて、現場で働く先輩たちとの懇談会を行い、仕事の内容だけではなく、先輩の就職活動体験などについて熱心に質問していました。

〔NECネットワークプロダクツ株式会社〕

業務内容 通信機器、電子機器並びにそれらの部品の製造、販売、保守



〔日本工営株式会社〕

業務内容 開発および建設技術コンサルティング業務
電力設備、各種工事の設計・施工
電力関連機器、電子機器、装置などの製作



3 大学祭協賛行事

10月の大学祭の開催に合わせて、後援会事業として保護者向けの下記事業を実施し、多くの参加をいただきました。
〔10月8日(土)開催〕

〔会津大学報告会・就職講演会〕

会津大学報告会では、兼本茂学生部長から「会津大学の近況について」というテーマで教育、就職について講演を行いました。また、就職講演会では株式会社リクルートの飯塚裕氏を講師に、最近の就職環境、就職活動中の学生本人に対する親としての心構えとコミュニケーションのあり方などを内容とする講演を行いました。

(参加保護者約100名)

〔修学相談会〕

学生部長はじめ学内で学生支援を担当する関係職員(修学支援室、学生相談室等)による、修学や進路、生活、心身の健康の問題に関する個別相談を行いました。(53組)

4 情報処理技術者試験送迎バス、就職活動交通費補助事業

情報処理技術者試験の受験者の利便を図るために、大学から試験会場である日本大学工学部(郡山市)までの送迎バスの運行を6月26日(利用数20人)、7月10日(利用数50人)と10月16日(利用者数101人)の3回行いました。

また、就職活動をする際により利用しやすいように公共交通機関の利用に伴う交通費を補助する就職活動交通費補助事業を実施し、これまで平成23年度卒業予定者74人、平成24年度卒業予定者20人(平成24年2月8日現在)から申請がありました。

5 無料朝食券の提供

学生の健全な食生活の維持の向上を目的に「朝食定期券」の販売を食堂と協力し購入費の一部を助成しました。
※利用者数 延べ120人。

6 クラス補助事業

教員と学生同士の日常的な結びつけを強め、常に気軽に相談し合える環境を作るため、クラス単位の活動について、食事会、レクリエーション活動に係る経費を助成しました。
※利用クラス数 延べ9クラス。

平成23年度新規事業

7 就活カフェ

就職支援活動の一環として、既に内定を獲得した学部4年生及び大学院2年生を先輩学生として、就職活動の始まりを迎える不安な就職活動学生が先輩学生に相談できる場を設けました。全4回、食堂及び大学カフェで開催しました。就職活動生はジュース、お菓子を飲食しながらリラックスした状態で、「就活はどうやっては始めるの?」という質問から、エントリーシートの書き方まで、先輩学生に質問し、先輩の就職活動体験談を真剣に聞いていました。

参加者からは「就活に向けて何をしていくべきか明確にできて、とてもいい機会になった」、「色々な体験談を聞けたり、就活のコツを聞くことができたので、とてもためになりました」という声がありました。

また、先輩学生からは「自分の話を聞いたことにより、やる気を出してくれて嬉しい」、「初回から回数を重ねていくにつれて質問の質が上がっていき、また、熱意が伝わってきて嬉しい」という声がありました。

※参加人数 延べ51人



〔就職活動の相談をする学部3年生〕

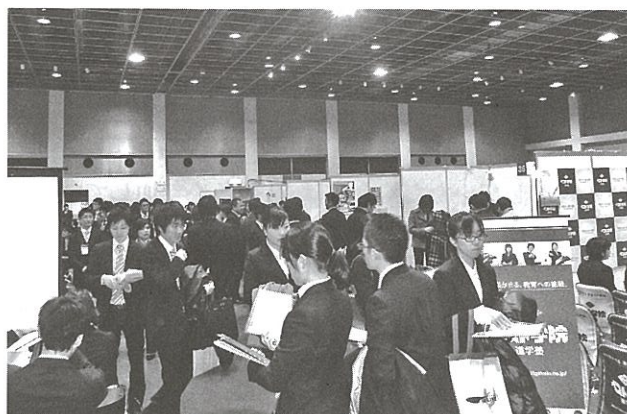


〔後輩にアドバイスする先輩学生〕

8 就職活動バス

東京、仙台で開催される株式会社リクルート、株式会社マイナビ主催の合同企業説明会への直通バスを運行しました。少しでも学生の就職活動における経済的負担を軽減させ、就職活動の始まりである合同企業説明会へ参加を促し、学生の就職に対する意識を高めるために実施しました。

全4回（東京3回、仙台1回）実施し、第1回から第3回までは申込みが早い段階で、1回44名の定員に達しました。
※申込者数 延べ167人



就職活動状況について

〔就職活動状況〕

厚生労働省が、平成 24 年度卒業予定者の大学生の全国の就職内定率は、12 月 1 日現在で前年同時期に比べ 3.1 ポイント増の 71.9 % と発表しました。昨年度は、この調査を始めた 1996 年以降で最低の数字でしたが、今年度は回復しています。

企業の採用の傾向としては、企業が求める人材でなければ採用予定数を下回っていても採用に結びつかないケースもあり、企業が求める質の人材でなければ採用しない厳選採用の傾向が続いています。学生は採用予定数に安堵することなく、自ら能力を高めていく必要があります。

一方で学生が企業規模、職種、勤務地などを絞り門戸を狭くすることで、求人とのミスマッチも見られます。本学では、例年、就職希望者の約 3 倍を超える求人があります。また、学内企業説明会に参加していただく企業の方からは「会津大生に来てほしいが、なかなか来てくれない」という声を聞きます。学生が企業名、職種などの知っている情報の範囲で判断してしまい、自ら可能性を狭めているケースが見受けられます。企業名などに捉われることなく様々な業種、企業を研究し、自分にあった働きがいのある企業を選択することが重要です。

就 職	進路希望		決定者
	民間企業	134	115
	(就職内定率)	85.8 %	
	教員	6	1
	公務員・団体等	11	5
	起業・家業	4	3
	合 計	155	124

進 学	進路希望		決定者
	本学大学院	66	63
	他の大学院	4	4
	海外の大学院	0	0
	合 計	70	67

※会津大学 平成 24 年 2 月 14 日現在

〔就職支援〕

進路ガイダンス及びキャリアデザインⅡでは、学部 3 年生を対象に外部講師による進路選択、エントリーシートの添削や筆記試験対策などを行い希望の企業に内定できるよう就職支援を行っています。

また、学部 2 年生を対象に社会人基礎力（前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力）の向上を目的に昨年度からキャリアデザインⅠを開講しています。



〔パネルディスカッションの様子〕



〔グループディスカッション演習の様子〕

〔学内合同企業説明会〕

学内での合同企業説明会を 12 月から 2 月までの 3 ヶ月間に計 8 回実施しました。県内外の企業に参加いただき、合計 134 社が学内にて説明会を行い、学生が学内にて企業の人事担当者から会社の説明を受ける機会を設けました。

昨年度の 122 社に比べると、本学の学内合同企業説明会に参加していただく企業は 12 社多く参加していただきました。

学生は、時間内に多くの企業の説明を聞くために積極的に行動していました。

このほか、企業が個別に説明会を実施する個別企業セミナーを随時開催しています。



〔食堂で開催した合同企業説明会の様子〕

学内ニュース

One Color ～日本をひとつに、2011 蒼翔祭～

10月8日、9日の2日間、蒼翔祭を開催しました。今年度は震災や原発問題など暗い話題が多い中、学園祭で心をひとつにという思いを込め「One Color」というテーマを掲げ様々な企画を行いました。

今年度は東北各地の B 級グルメを集めた「東北 B 級グルメ博」の展開や、「巨大起き上がりこぼし」を設置し震災から復興に向けた励ましや勇気の出るメッセージを書き込んでもらうなど復興をテーマとしたイベントも行いました。

また来場者数は昨年度を大きく上回るおよそ 5,000 人の方が訪れました。これも多くの方のご協力によって成し得たことだと思えます。ありがとうございました。



大学院生の研究に注目！

会津大学の大学院生がコンテストや学会で成果をあげています。

11月26日（土）、スマートフォンアプリや Web サービスの企画開発に関するアイデアを競う「ニフティ Web コンテスト 2011」に、コンピュータ理工学研究科博士前期課程 2 年の渡邊祐輔さん、吉田太志さんが参加しました。二人の作品『どこでもドライブ ～未来の車を先取り』は、「家にいながら世界中の道路をドライブできる！」をコンセプトに、Microsoft の Kinect センサーと Google ストリートビュー、Google マップを組み合わせて開発したもので、ハンドルを操作するジェスチャや音声で運転モードが切り替えられるといった機能があります。この作品は「ビジネスの実現性が高い」と評価されるビジネス賞の金賞と、来場者の投票から選ばれるオーディエンス賞の金賞を受賞。吉田さんはオーディエンスのフィードバックを基に、更なるサービスの改良を目指したいと話しています。



会津大学の海外短期・中期留学 平成 23 年度実績

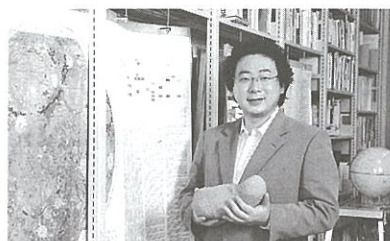
	研修先	研修期間	研修学生(派遣時)
海外中期派遣	ローズハルマン工科大学(米国)	平成 23 年 8 月 30 日～平成 23 年 11 月 29 日 (3ヵ月間)	山本 脩太(博士前期課程 1 年)
海外中期派遣	ローズハルマン工科大学(米国)	平成 23 年 11 月 26 日～平成 24 年 2 月 27 日 (3ヵ月間)	塩沢 京平(学部 3 年)
JASSO奨学金	マーサー大学(米国)	平成 23 年 12 月 24 日～平成 24 年 9 月 (10ヵ月間)	橋間 浩嗣(博士前期課程 1 年)
海外中期派遣	ローズハルマン工科大学(米国)	平成 24 年 3 月 4 日～3 月 26 日 (3 週間) 予定	澤井 秀仁 (学部 2 年) 須田 亮平 (学部 3 年) 大野 綾花 (学部 1 年)
JASSO奨学金	ローズハルマン工科大学(米国)	平成 24 年 3 月 4 日～3 月 26 日 (3 週間) 予定	橋本 有理香 (学部 2 年) 田口 諒 (学部 3 年) 吉田 基人 (学部 2 年)



山本 脩太さん (写真中央)
(ローズハルマン工科大学に派遣)

ローズハルマン工科大学で受けた授業は、課題も内容を理解した上で自分なりに深く考えないと解けないものが多く、毎回時間をかけて取り組みました。課題の中にはグループワークもあり、空いている時間に集まって話し合いながら行わなければなりませんでしたがとてもためになりました。授業は大変でしたが、友人と食事に出かけたり、休日にはホームステイさせて頂いたりして、有意義な時間を過ごすことができました。渡米前は不安でいっぱいでしたが、本気で取り組みれば乗り越えられると痛感しました。とても良い経験ができたので、良かったです。(山本 脩太 博士前期課程 1 年)

会津大学 教員紹介



「会津大学と宇宙開発」

先端情報科学研究センター(CAIST)
宇宙情報科学クラスターリーダー

で むら ひろ ひで
上級准教授 出 村 裕 英

石川県がルーツの比較的めずらしい苗字なので、振り仮名付きで名前を書きました。東京スカイツリーで話題の東武沿線に両親がいるため、会津鉄道－野岩鉄道－東武鉄道と私鉄を乗り継ぎトコトコのんびり帰省する時があります。

2002年の着任以来10年が経ちました。前職は宇宙開発事業団宇宙開発特別研究員というポストでした。縁あって会津に来てからは、研究室を挙げて「はやぶさ」「かぐや」といった深宇宙探査ミッションに関わっています。2006年に本学大学院生と共著で雑誌 Science に書かせて頂いたことや、2009年に発足した先端情報科学研究センター(CAIST)宇宙情報科学クラスターに加わった新教員が活躍されていること、2010年に「はやぶさサポートチーム」として宇宙開発担当相・文部科学相から機関表彰されたこと等、深宇宙探査をキーワードとして会津大学に脚光が当たる機会が増えたことを喜びつつ、関係した皆様に感謝しています。学内教員と国立天文台および宇宙航空研究開発機構(JAXA)講師が連携して宇宙開発を扱う大学院科目が開講し、国立天文台に続いて2012年元旦にJAXAとも大学院教育連携協定が発効しました。様々な開発要素を含んで間口の広い宇宙開発に本学学生が触れられる機会が増えています。

私が担当している授業科目は、上記大学院科目と、学部1－2年生の専門基礎科目です。1年生のコンピュータリテラシー・プログラミング入門、2年生のコンピュータ理工学実験で、それぞれUNIX・C言語・電気回路実験の手ほどきをしています。今年度は、防災・放射線・風評克服の3テーマを学べる学生課行事の震災対応特別セミナーにも関わりました。技術の進歩は速いので学部教育内容だけでは技術者として活躍しづらいものですが、本学のカリキュラムはコンピュータに特化して実践重視の科目を用意し、早い段階で先端的知識に触れる機会を増やしているのが特徴です(トップダウン教育)。そのため、上述の宇宙開発最前線に本学学生が飛び込んで他大学学生に伍して遜色ない成果を挙げ、かつ日本や世界をリードするような企業に就職できている先例があります。もちろん、大学院に進学することで、より実践的、専門的、かつ最新の研究成果に触れる機会が増えるので、優秀であればあるほど、水を得た魚のように活躍するようになります。外国人教員の多い本学は海外の大学と似た『入りやすく出にくい』面があり、厳しい成績評価で留年する学生も見かけます。しかし、勉学に励んで卒業できれば、未来を切り拓いていける力も自信もついてきます。真面目に勉強し切磋琢磨する大学生として、引き続き頑張りたいと思っています。

就職相談員紹介



「自信を持って世に出よう！」

就職相談員 田 中 秀 雄

学生課就職支援室。私がここにきて約2年足らずです。以前は企業にいましたが正直、会津大学の評判をあまり知りませんでした。ところが、就職率は番組バンキシャなどが取り上げるまでもなく、ずっと100%近くを維持して

きたのには正直驚きました。さすがにリーマンショック以降は苦戦していますが、それにしても過去平均就職率98%とよく健闘していると思います。私は、山内学生副部長と2回ほど東京のIT企業を数十社ほど回ってその感触を聞いて回りましたが、もちろんどのIT企業も会津大学のことは良く知っていました。中には「うちのような会社は、なかなか会津大学さんのようなところからは人は採れませんから」と言われる会社もあるくらいです。正直会津大学のこの業界での評価の高いことに改めて感心した次第です。

これはなぜだろうと考えました。最後の砦の就職支援をがんばったからなどとは申しませんが、それにしても何が評価されているのか、改めて考えると、やはり、ITのニーズにあった単科大学で、また、カリキュラムが今のニーズにマッチしているからだと思いました。つまり、大学創立時の建学の狙いが当たったのであろうと思います。コンセプトとカリキュラムが世に受け入れられているのだと思います。逆に、これからもこの就職率を維持していくには、われわれの努力も然ることながら基本的にコンセプトとカリキュラムが世に先んじてITをリードしていくことであろうとも思います。

私は学生が履歴書の書き方について相談に来るたびに思います。基本的に会津大学生はITについては他の大学に負けないくらいの内容を学んでいること。また、多くの外国人教員の授業に接し、論文、発表までを英語で行っていることなどは自信を持ってよいところであると思っています。残念ながら学生の自覚の中には、意外とその認識がなく、「日本中みんなこんなもんだ、大学生は」というような認識しかなく見えます。つまり、これらは日本でも稀有な陣容と内容を持っていて、これらを大いに自己アピールして、自信を持って良い内容であると思っています。立派な基礎を身に付けているように思います。がんばれ会津大生！

サークル紹介

フライングディスク部

こんにちは、会津大学フライングディスク部です。僕たちはフライングディスク（フリスビー）を使った競技であるアルティメットというスポーツを行っています。アルティメットとはアメリカ生まれの New スポーツで、一般的にバスケットボールとアメリカンフットボールを足して2で割ったようなスポーツだと言われています。1チーム7名で、オフェンスがディスクをパスでつなげ、敵陣のエンドゾーン内でディスクをキャッチすれば1点となります。球技には無い「浮く」というおもしろさがアルティメットの魅力です。

アルティメットはプレイヤー同士でジャッジを行うセルフジャッジの競技であり、選手はお互いを尊重し、公平なジャッジをする紳士的なスポーツです。詳しくはインターネットなどで調べてみてください。

私たちは4月から10月まで、東北地方の各地で大会が開催されるアルティメット東北リーグに参戦していて、たくさんの大会で優勝や上位に入り数々のトロフィーや盾を獲得しています。また全日本学生アルティメット選手権大会や、ドリームカップなどの全国規模で行われる大会にも参加しています。みんなまじめに競技を楽しんでいますが、みんなとても仲良く、遊びにいたり、飲み会を開催したりととても楽しいです。



軽音楽部

会津大学軽音楽部は部員がそれぞれ好きなバンドを組んでライブで演奏しようというサークルです。軽音楽部では1～2か月に1回、ライブハウス等で定期的にライブを行っています。ライブがないときの普段の活動は、バンドごとに次のライブに向けて部室での練習が中心ですが、少し時間ができたときは個人で部室に入って楽器を弾いてみたり、仲のいい数人でジャムしてみたりなど自由に活動しているサークルです。

また、春には花見、夏には合宿、秋には芋煮など、ライブ以外にもみんなでわいわい楽しめるイベントも行なっています。軽音楽部のライブイベントの中には、チケットやポスターをつくって一般の方にも見てもらうライブや、メンバーをシャッフルして即席のバンドをつくり、そのバンドで演奏するシャッフルライブというものなど、さまざまなライブイベントがあります。その中でも大きなライブの1つとなるのが、会津大学の学園祭でのライブです。毎年、軽音楽部は会津大学の学園祭のメインステージでライブ演奏を行っています。このライブは広くて大きいステージで学生や一般の方などの大人数の前で演奏することができるため、とても盛り上がり楽しいライブです。もし機会があれば、会津大学軽音楽部によるライブハウスでのライブ、または会津大学学園祭でのライブを見に来てください。



保護者の方へ ～お知らせ～

後援会事務局からのお知らせ

【卒業記念パーティー】

本年度の学位記授与式が3月23日（金）午前10時から講堂で行われます。後援会では、これを記念するとともに、これまで指導いただいた教員の方々への感謝を込めて卒業パーティーを開催します。保護者の皆さまには、ぜひ御出席くださいますよう御案内いたします。

- 日時 平成24年3月23日（金）12:20～
- 場所 会津大学学生ホール1階 学生食堂
- 会費 卒業学生及び保護者ともに無料

学生課からのお知らせ

【保健室から】

食べ物 ～身体からのメッセージに愛を持って耳を傾けましょう～

私たちの身体は食べ物をエネルギーとしています。身体の高い状態をつくるには、カロリー及び栄養素のバランスが取れる食べ方が必要です。カロリーが多すぎると肥満、少なすぎると痩せの原因になります。栄養素が不足すれば、思わぬ病気を引き起こすこともあります。良く味わってバランスよく食べることで、健康管理を実践して欲しいと思います。

【卒業記念アルバム】

卒業アルバムは、(株)メディア出版新潟支社が作成し、直接予約を受け販売しています。なお、作成にあたっては、会津大学学生課が写真撮影の手配等について引き続き協力を行っています。詳細につきましては、同封いたしました案内にてご確認をお願いいたします。

【成績表の保護者への送付】

学生課では、保護者の皆さまへ単位修得状況と1年間の成績表を、毎年3月下旬にお送りしています。4月上旬までに届かない場合は、学生課教務係(電話0242-37-2600)にお問い合わせください。

【転居等による住所の変更】

保護者あての送付物が「転居先不明」で戻ってくる事例が多く見受けられます。転居等で住所が変更になった場合は、学生課に「保証人住所変更届」をご提出くださいますようお願いいたします。

平成24年度会津大学教務日程（予定）

在学生履修登録期間	3月8～14日
入学式	4月3日
新入生オリエンテーション	4月4～6日
健康診断	4月5～6日
前期授業開始	4月9日
内科検診	5月23～24日
前期試験	7月24日～8月3日
夏季休業	8月6日～9月28日

在学生履修登録期間	9月11～14日
後期授業開始	10月1日
蒼翔祭	10月6～7日
冬季休業	12月25～1月4日
後期試験	1月28日～2月7日
卒業論文発表会	2月14～15日
春季休業	3月1日～29日
学位記授与式	3月22日